

30. 5. 15

加藤 欣一 様

平成30年5月16日
那珂市中里79番地
綿引 洋

ご無沙汰しております、何時も情報を頂き感謝しております。

最近まで真空管アンプの会で、他の会員と同じく真空管式のステレオアンプを製作して、1台ずつ150人くらいの会場で、マニア?による試聴をしました。
送信機作りも同じで個性が有って、見ているだけで楽しく、どの会員もお金持ち!の感じです。
部品も1個の出力トランスが数万円以上、それに出力管も1本数万円以上で、電線までも無酸素銅線使用です。

会場へ設置の時は重量級のため荷物運搬用台車を使用していました。

私は、今回が初めての機器の展示と音の試聴に参加しました、アンプ出力は2W 2Wで出力トランスは、ノグチの1個¥3000円の出力トランスと1本¥450円の6BM8で重量は2kg以内で製作しました。

試聴の結果、なんと試聴者全員の支持を頂き、リクエストで何枚もの曲を演奏しました。
参加者全員、これは何なのか?今まで作って来た重量級は何んだったのか、遅く迄で皆で議論しました。

送信機の方は、在庫に2E22/2P22が数本有るので、サプレッサ グリッド変調方式に決め、規格表から100%で30MHzまで使用出来て出力も12Wあるので21MHz送信機を作りました。

送信機は、変調回路の製作と調整も簡単で作りやすく、その上に深い変調で、やはりサプレッサ変調管だなと思いました。

新プリアス規格で21MHzの送信機を申請して、免許が交付されました。

今迄使用していた、多数の水平ダイポールアンテナを廃止して、新たにアメリカ製の垂直バーチカルアンテナで 3.5MHzから50MHz迄の9バンド対応のアンテナに変えました。

アンテナは垂直には16度(打ち上げ角)水平には360で+3dBの利得があります。

1本のアンテナで各周波数に同調しますので、2個の同軸切り替え器で、1回の操作で送信機と受信機を切り替えが出来て、素早く対応出来るようになりました。

建柱は数日まえで、アンテナの高さが約5m程高くなったので少しは良くなればと期待しています。

新プリアス規格で免許になった21MHz送信機の一部の資料を参考迄にお送りします。

今後共宜しく願います。